

これは、2009年2月4日にダイムラーAGから発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。

ご参考

Press Information

メルセデスAMG社、2008年販売台数で過去最高を記録

2009年2月6日

- ・ 世界販売台数は2万4,200台
- ・ ドイツでは前年比34%増となり世界第2の市場に

ドイツ・メルセデスAMG社は2008年の世界販売台数が、創業以来最高の実績を記録したと発表しました。メルセデス・ベンツのハイパフォーマンスブランド、「AMG」の2008年世界販売台数は、市場環境がきわめて厳しくなる中でも前年の2万300台を19%上回る2万4,200台を達成しました。市場別販売台数比率は米国がこれまでと同様トップで全体の38%。これにドイツ(13%)、日本(8%)が続いています。市場別の伸び率では、中国とブラジルがそれぞれ260%、565%となっており、ドイツでは前年比34%と大幅な伸びを記録しました。こうしたすぐれた実績により、AMGはハイパフォーマンスカーブランドでトップの地位を守るとともに、そのシェアをさらに伸ばしています。

モデル別では、新モデルC 63 AMG(セダン、ステーションワゴン)が8,100台と、1モデルの販売台数としてAMG史上最高を記録しました。また、新型SL 63 AMGも3,050台と好調でした。

これに加え、躍進を続けるブラックシリーズ(特別仕様車)にSL 65 AMG Black Series(世界限定350台)が加わり、お客様からも大きな反響をいただきました。

AMG ドライビングアカデミーが好評

メルセデスAMGカスタマーを対象にサーキットでハイレベルのトレーニングやプログラムを行うAMGドライビングアカデミー(2007年設立、欧州にて開催)は、申し込み数が前年の2倍に達しました。AMGではこのAMGドライビングアカデミーが好評であることを受け、2009年にそのオプションを拡充する予定です。

さらに、現在世界15ヶ国において個々のお客様に目を配り、トップクラスのカスタマーケアをお届けしている、AMGパフォーマンスセンターを、来年末までに世界175ヶ所に新設する予定です。

環境に適合した開発の取り組み

メルセデス AMG では、ハイパフォーマンス・スポーツカーの開発を情熱をもって進める一方で、社会的責任をしっかりと自覚し、環境に適合したクルマの開発に力を注いでいます。例えば、AMG 車の燃費効率は、すでに各自動車メーカーの競合するパフォーマンスカー・ブランド、スポーツカー・ブランドの中でもトップクラスの燃費を実現するとともに、排出ガスについても、すべてのモデルについて、2009 年に実施される EU5 排出ガス基準に対応し、さらに、2014 年以降実施予定の EU6 についても適合する見込みです。また、いっそうの燃費向上策として、効率を高めるエンジン・ジェネレーター・マネジメントと、新開発オイルポンプやウォーターポンプをまもなく導入する計画です。さらに、2010 年以降ガソリン直噴方式およびスタートストップ機能を順次導入予定です。こうした効率向上を目指した新技術の導入により、AMG 車の燃費は 2012 年以降、現在よりも 30%向上する見込みです。

AMGは、1967 年、ハンス・ヴェルナー・アウフレヒトとエルハルト・メルヒャーにより設立され、メルセデス・ベンツのモータースポーツおよびチューニングのパイオニアとされています。1990 年、ダイムラー・ベンツAGと提携、また1999 年よりダイムラー・クライスラーAGへ段階的に統合され、2005 年 1 月 1 日、ダイムラー・クライスラーAGの 100%子会社となりました。現在では、メルセデス AMG社としてダイムラーAG傘下の自動車メーカーへと発展し、メルセデス・ベンツ・カーズ部門のハイパフォーマンスブランドとなっています。メルセデス AMG社は、メルセデス・ベンツのハイパフォーマンスカーの専門メーカーとして、スポーティなセダン、クーペ、カブリオレ、ロードスター、SUVを開発するとともに、お客様のご要望にきめ細かく対応する 1 台限りの特別生産モデルなどを提供しています。AMG各モデルの開発においては、デザイン、空力特性、インテリアから駆動システム、エンジン、シャーシ、ブレーキ、電子装置、そして最終的な商品化にいたるまで一貫して責任をもって手がけるだけでなく、マーケティングおよび販売関連業務も独立して進めています。